
2004年3月期第一四半期決算説明会資料

スパークス・アセット・マネジメント投信株式会社



2003年8月20日

SPARX Asset Management Co., Ltd.

この資料は、投資家への情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の有価証券の取引を推奨する目的、または特定の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。数値、情報については、正確性を期すべく、万全の配慮をしておりますが、一部内部資料に基づくものもあり、財務データに関しては未監査のものであるので、その正確性、完全性、情報や意見の妥当性等を保証するものでなく、当該データ、意見等を使用した結果についてもなんら補償するものではありません。また、ここに記載された内容が事前連絡なしに変更されることもあります。この資料の著作権はスパークス・アセットマネジメント投信株式会社に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

目次

.第一四半期決算について	P.4 ~ 12
.運用資産について	P.13 ~ 19
III .当社ビジネスについて	P.20 ~ 26

I. 第一四半期決算について

【注】 本資料における数値は全て連結ベースの数値を使用している。

2004年3月期 第一四半期 決算ハイライト（連結）

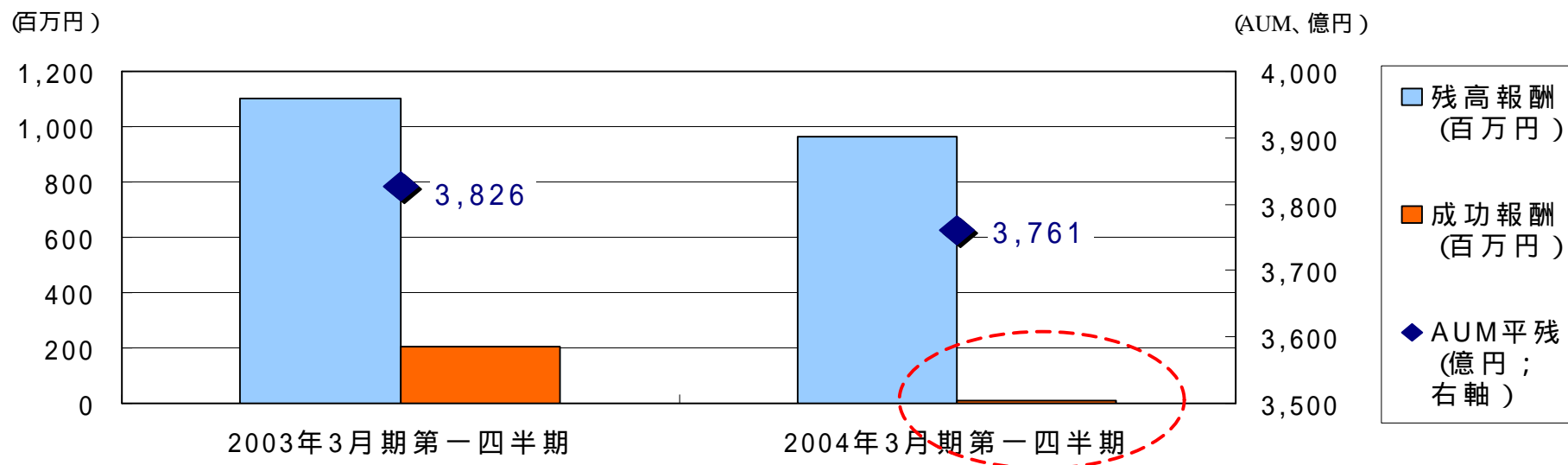


		2003年3月期	2004年3月期	前年同期比	2003年3月期
		第一四半期	第一四半期		
運用資産 (AUM) 平均残高	(億円)	3,826	3,761	-1.7%	3,839
営業収益	(百万円)	1,343	1,061	-21.0%	4,899
営業費用	(百万円)	273	168	-38.2%	1,072
一般管理費	(百万円)	707	726	+2.7%	2,784
経費合計	(百万円)	980	895	-8.7%	3,856
営業利益	(百万円)	362	165	-54.3%	1,042
経常利益	(百万円)	341	170	-50.2%	1,017
当期純利益	(百万円)	211	112	-47.0%	560
役職員数	(人)	86	99	+15.1%	94
分割調整後・潜在株式 調整後 EPS	(円)	4,664	2,502		11,500

(注1) 上記表中の数値は、単位未満を切捨てて表示している。ただし、「前年同期比」の%については、小数点以下第2位を四捨五入し表示している。

(注2) 上記の「分割調整後・潜在株式調整後 EPS」とは、2003年5月20日効力発生分を含めた、これまでの過去2回の株式分割等に伴う希薄化を調整し、過去のEPSを修正した数値。分割後の現時点の発行済株式数（自己株式控除後）は、40,340株となっている。

営業収益について（連結）

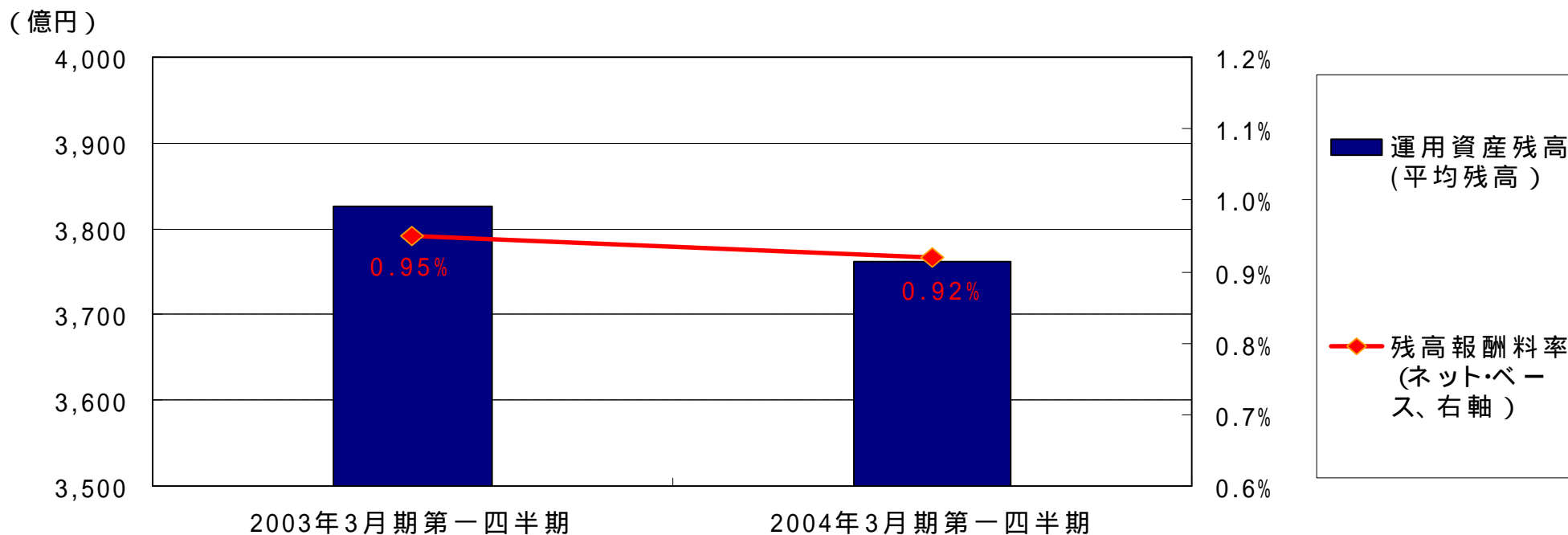


営業収益 (単位:百万円)	2003年3月期 第一四半期		2004年3月期 第一四半期			2003年3月期	
	営業収益に占める割合	営業収益に占める割合	営業収益に占める割合	前年同期比	営業収益に占める割合	営業収益に占める割合	
投信・投資顧問料	1,308	97.4%	976	92.1%	-25.4%	4,735	96.6%
内残高報酬	1,104	82.2%	964	90.9%	-12.7%	4,441	90.6%
内成功報酬	204	15.2%	12	1.2%	-94.0%	294	6.0%
その他	34	2.6%	84	7.9%	145.2%	164	3.4%
合計	1,343	100%	1,061	100%	-21.0%	4,899	100%

(注1) 上記表上の数値は、単位未満を切捨てて表示しているが、表中の「収益に占める割合」「前期比」の%は、原則、小数点以下第2位を四捨五入し表示している。ただし「収益に占める割合」については、合計が100%となるよう調整し、表示している。

(注2) グラフ中に示されている「AUM」とは、「運用資産残高」の略称。

残高報酬料率（連結・ネットベース）



	2003年3月期 第一四半期	2004年3月期 第一四半期	2003年3月期
運用資産残高 (平均残高) (億円)	3,826	3,761	3,839
残高報酬料率 (ネットベース) (%)	0.95%	0.92%	0.95%

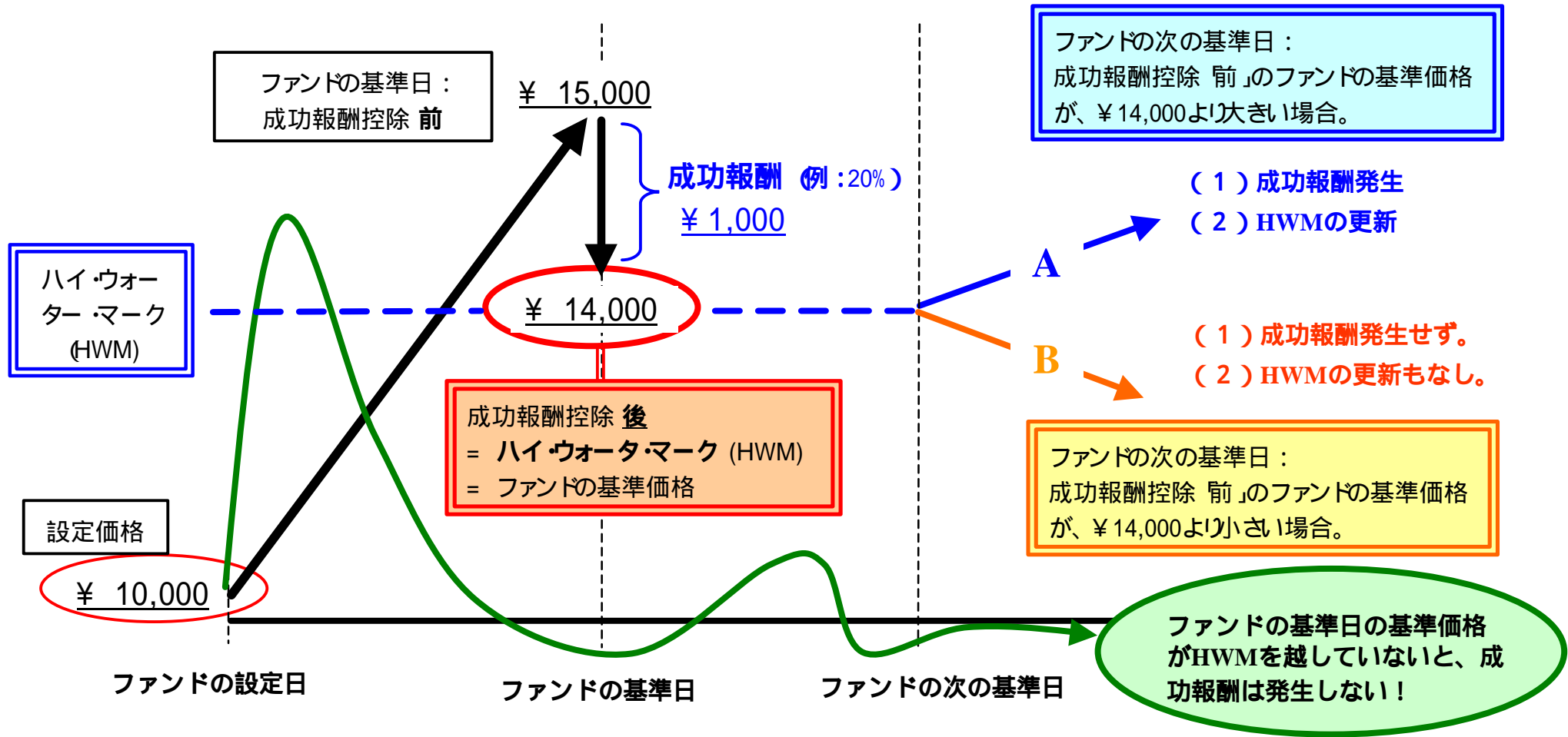
(注1) ここで表示している残高報酬料率とは、残高報酬から残高報酬にかかわる支払手数料部分を差し引いた、正味手取(ネットベース)の残高報酬率を概算値として算出している。

(注2) 上記表中の「運用資産残高(平均残高)」は、単位以下を切り捨て。「残高報酬率(ネットベース)」は、小数点以下第3位を四捨五入している。

「成功報酬」の概略 【ハイ・ウォーター・マーク方式】



絶対リターン追求型の運用に多い成功報酬の仕組み



(注1) 上記の図は、成功報酬の仕組みを簡便的に説明したものである。実際の成功報酬の体系およびファンドの基準価格の計算方法を厳密に説明しているものではない。

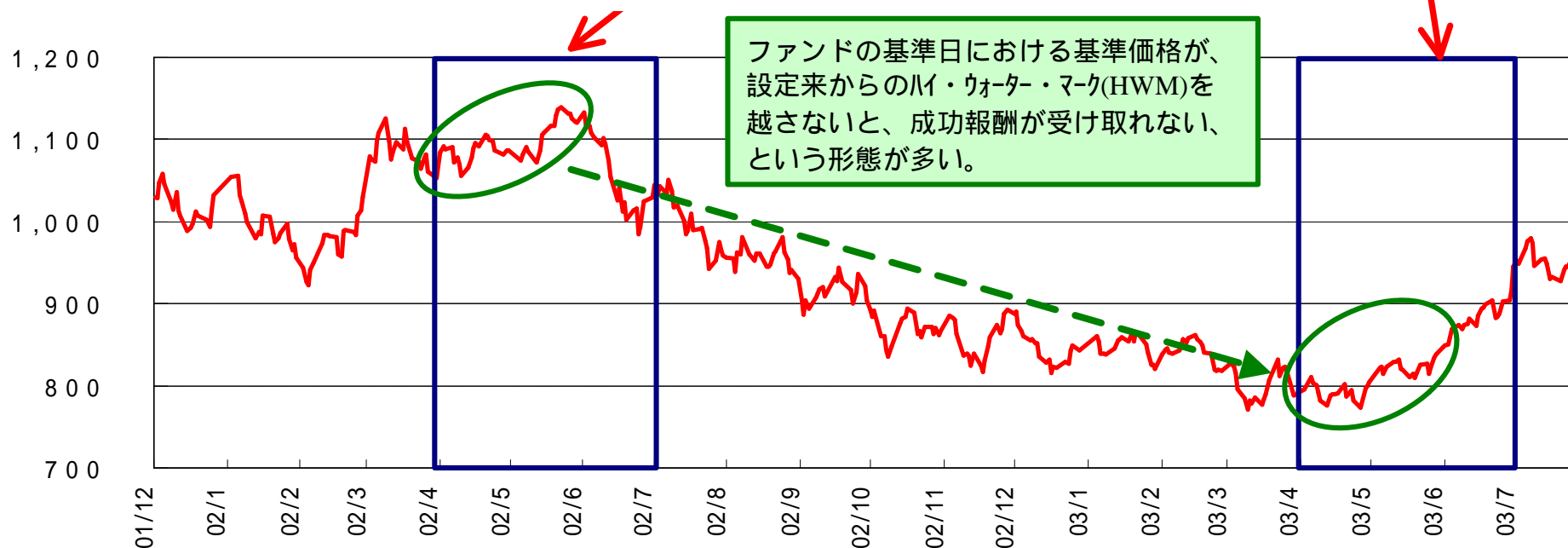
(注2) 上記では、成功報酬料率を便宜的に20%として計算している。また、上記の「HWM」とは、ハイ・ウォーター・マークの略。

第一四半期における成功報酬の比較（連結）



(単位 :百万円)	2003年3月期 第一四半期	2004年3月期 第一四半期	2003年3月期 (通期)
成功報酬 (実現分・合計)	204	12	294
【運用戦略別 内訳】			
日本株式ロング・ショート	201	6	287
日本株式一般	2	5	6

【第一四半期における日本株式市場の比較（TOPIX 指数）】

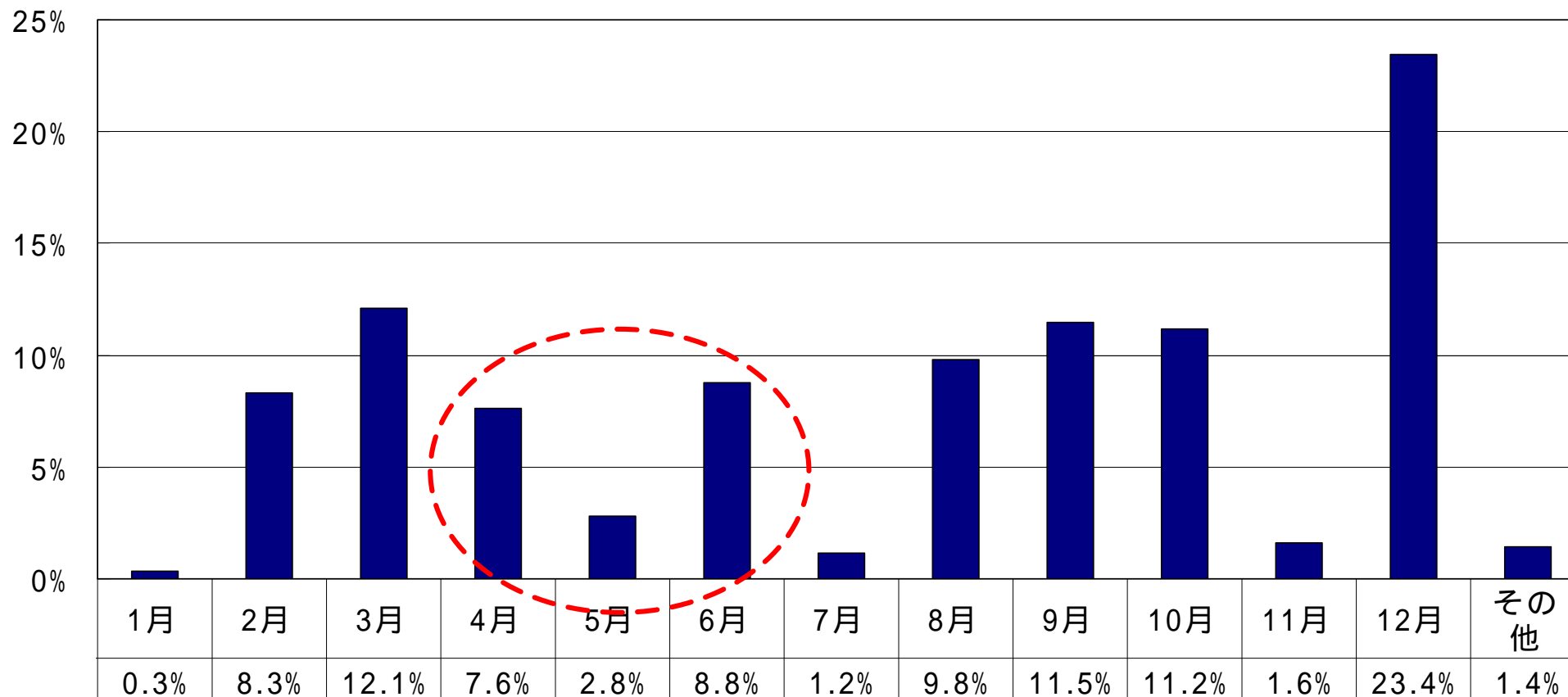


(注) 上記表上の数値は、単位未満を切捨ててで表示している。

成功報酬の計算基準日の分布状況



運用資産残高（2003年6月末）に占める割合



(注1) 上記表中の「運用資産残高（2003年6月末）に占める割合」では、当社が運用する全てのファンドを、成功報酬の基準日および支払いが確定する月ごとに分類し、その上で、当社の2003年6月末の運用資産残高に占める割合をグラフ化した。その際、複数の支払時期があるファンド（「ファンド」とは、投資信託あるいは投資一任口座を指す。以下同様）については、該当ファンドの残高全てを各月に計上、各月に重複して計上している分は、運用資産残高合計にも加算、成功報酬がついていないファンドは、運用資産残高の合計から除外、という調整を行い、上記割合を算出している。尚、上記の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入し、表示している。

(注2) 上記の数字は、社内データ及び当社資料による概算値であり、正確性を保証するものではない。

経費（営業/一般管理費・連結）について

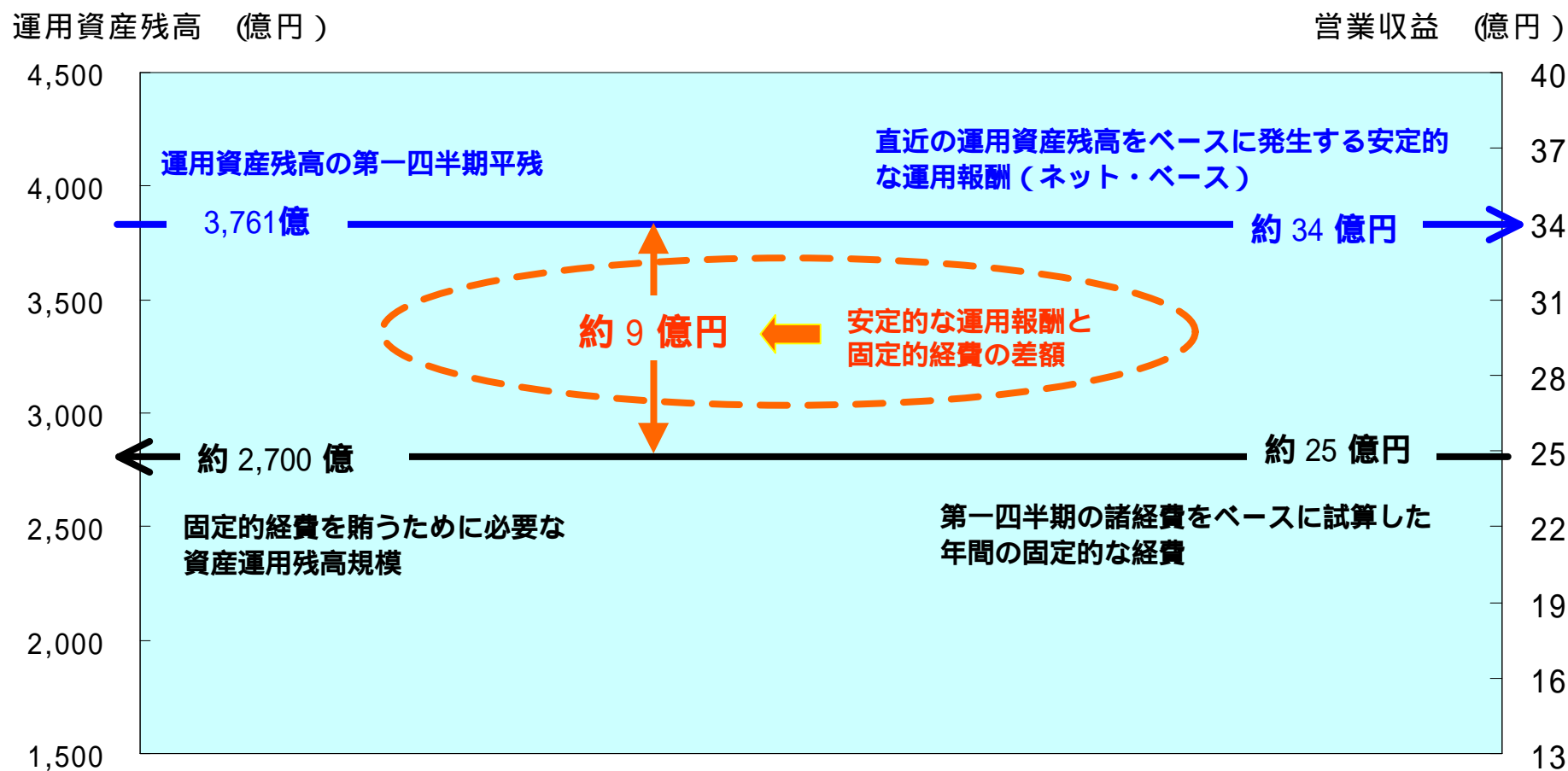


	2003年3月期 第一四半期		2004年3月期 第一四半期			2003年3月期	
	(単位:百万円)		営業収益に占める割合	営業収益に占める割合	前年同期比	営業収益に占める割合	
営業費用							
支払手数料	214	16.0%	102	9.7%	-52.1%	806	16.5%
委託計算費	21	1.6%	22	2.1%	0.7%	98	2.0%
調査費	19	1.5%	28	2.7%	47.7%	78	1.6%
広告宣伝費	2	0.2%	2	0.2%	9.3%	16	0.4%
雑経費	14	1.1%	12	1.2%	-16.0%	71	1.5%
営業費用合計	273	20.4%	168	15.9%	-38.2%	1,072	22.0%
一般管理費							
人件費等	413	30.8%	443	41.8%	7.1%	1,511	30.9%
旅費交通費	51	3.8%	33	3.2%	-34.8%	207	4.2%
不動産貸借料	67	5.0%	74	7.0%	9.9%	288	5.9%
固定資産減価償却費	28	2.1%	40	3.8%	41.2%	141	2.9%
事務委託費	39	3.0%	34	3.3%	-13.6%	200	4.1%
その他	106	7.9%	101	9.5%	-4.9%	435	8.9%
一般管理費合計	707	52.6%	726	68.6%	2.7%	2,784	56.9%

(注1) 上記の数値は、単位未満を切捨てて表示している。ただし、上記表中の「その他」は、表中に明記された各項目以外の項目を合算し、単位未満を切り捨てた数値。また、「収益に占める割合」および「前年同期比」については、%表示の小数点以下第2位を四捨五入している。

(注2) 上記は、営業費用、一般管理費の主要項目を要約したものであり、簡便的に記載している。

運用資産残高と収益基盤の安定性

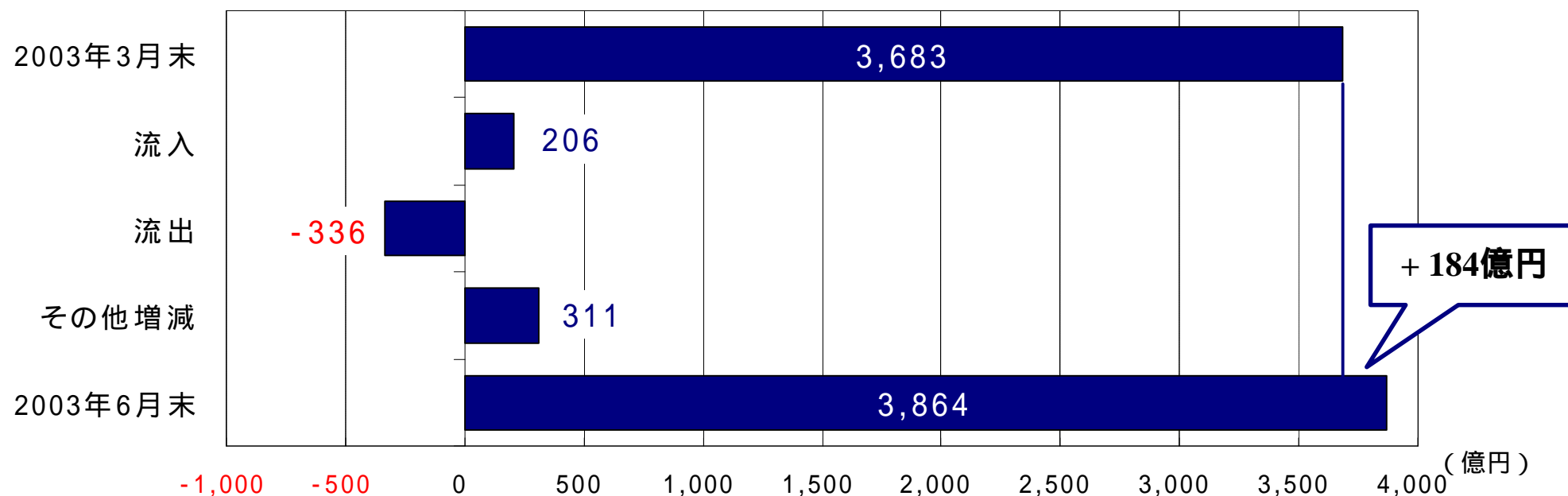


(注1) 上記の表に記載されている「安定的な運用報酬」、「年間の固定的な経費」、および「固定的経費を賄うために必要な資産残高規模」等は、第一四半期における「運用資産残高平残、残高報酬料率(ネット連結ベース)、経費全体から、支払手数料、委託計算費、賞与引当金や役員報酬等の一部を変動費と見なして試算した「固定的な経費」、を目安に算出したもので、当社の今後の収益および経費のレベルを約束するものではない。

(注2) ここで記載している年間の固定的な経費とは、第一四半期で固定的経費と仮定した数値を年間ベースに割戻したものであり、年間経費を予測するものではない。

II. 運用資産について

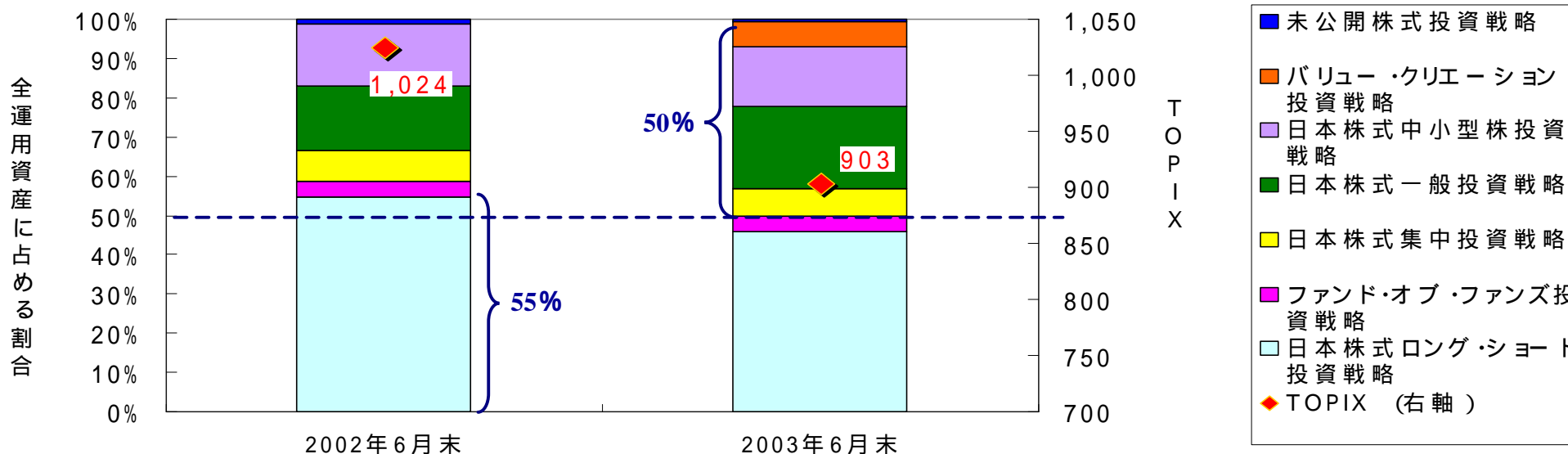
資金流出入 【2004年3月期 第一四半期】



ストラテジー別 (単位:億円)	2003年3月末	2003年6月末	増減
日本株式ロング・ショート投資戦略	1,917	1,775	-142
日本株式集中投資戦略	238	265	26
ファンド・オブ・ファンズ投資戦略	153	158	4
日本株式一般投資戦略	667	816	149
日本株式中小型投資戦略	447	578	130
バリュー・クリエーション投資戦略	239	254	15
未公開株式投資戦略	18	20	1
合計	3,683	3,868	184

運用資産残高 (AUM)

【運用戦略別・構成割合の推移】

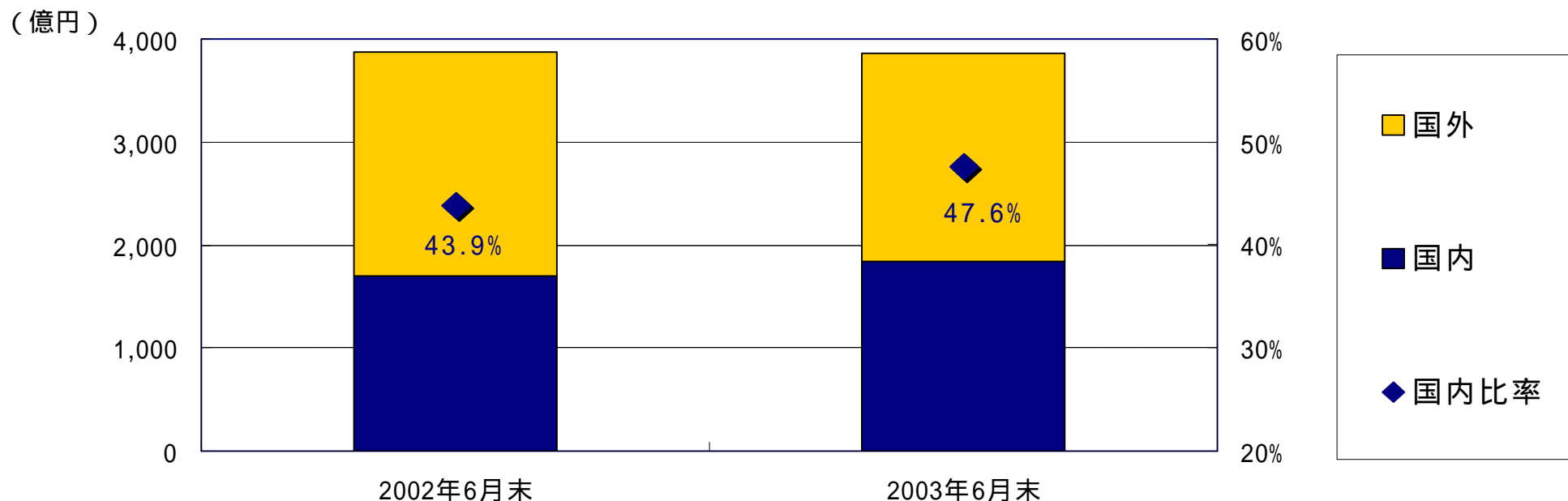


(単位：億円)	2002年6月末		2003年6月末			2003年3月末	
	運用資産残高に占める割合 (%)	運用資産残高に占める割合 (%)	運用資産残高に占める割合 (%)	増加率 (%)	運用資産残高に占める割合 (%)	運用資産残高に占める割合 (%)	
日本株式ロング・ショート投資戦略	2,123	54.7%	1,775	45.9%	-16.3%	1,917	52.1%
日本株式ロング・オンリー投資戦略	1,600	41.2%	1,934	50.0%	+20.9%	1,612	43.8%
ファンド・オブ・ファンズ投資戦略	158	4.1%	158	4.1%	-0.1%	153	4.1%
合計	3,881	100.0%	3,868	100.0%	-0.3%	3,683	100.0%

(注1) 上記の数値は月末の数値であり、単位未満を切捨てて表示している。また、上記表中の「運用資産に占める割合」の数値は、原則、小数点以下第2位を四捨五入しているが、合計が100%となるように調整している。

(注2) 上記「日本株式ロング・オンリー」とは、空売りを含まない日本株式での運用投資戦略を意味し、具体的には 日本株式集中投資戦略、日本株式一般投資戦略、

運用資産分析 【国内外比率の比較】

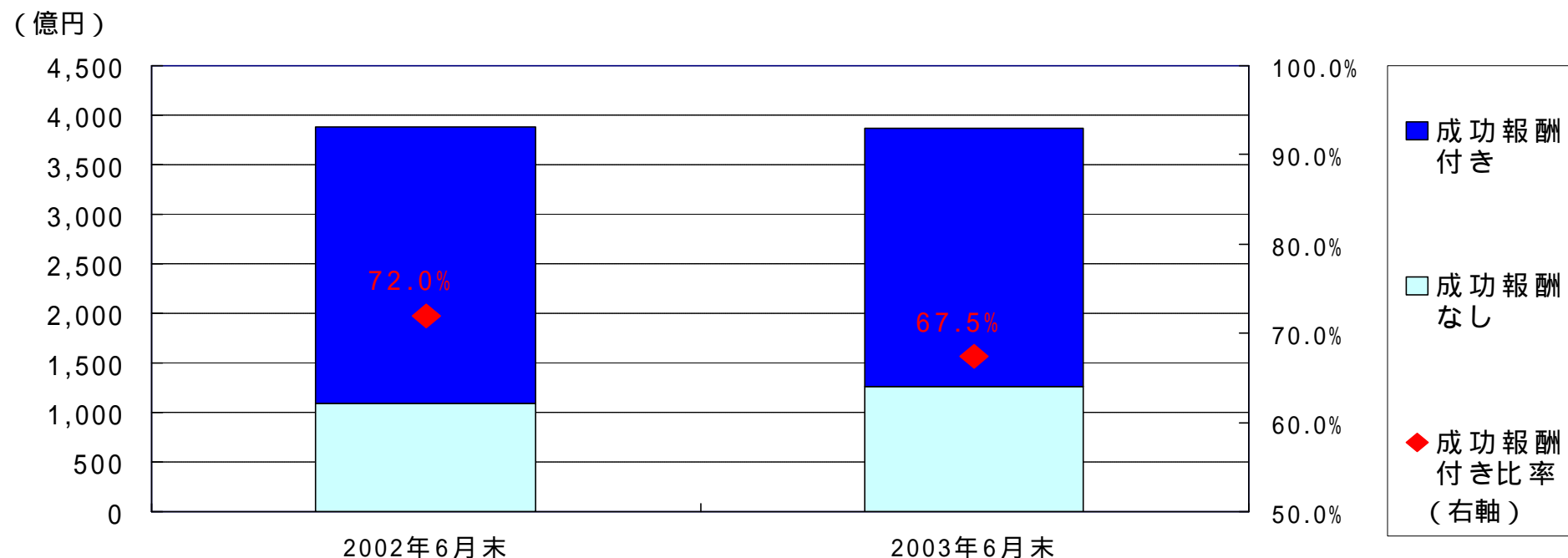


	2002年6月末	2003年6月末	増加率 (%)	2003年3月末
国内 (億円)	1,702	1,840	+ 8.1%	1,788
国外 (億円)	2,179	2,027	- 7.0%	1,895
国内比率 (%)	43.9%	47.6%	-	48.6%
合計	3,881億円	3,868 億円	-0.3%	3,683 億円

(注1) 上記の「国内・国外」の区分は、社内データ及び当社資料による、「最終顧客の属性」に基づく区別であり、その属性の正確性を保証するものではない。

(注2) 上記の数字は、単位未満は切り捨てで表示している。ただし、「国内比率」の%については、小数点以下第2位を四捨五入している。

成功報酬付きファンド比率の比較



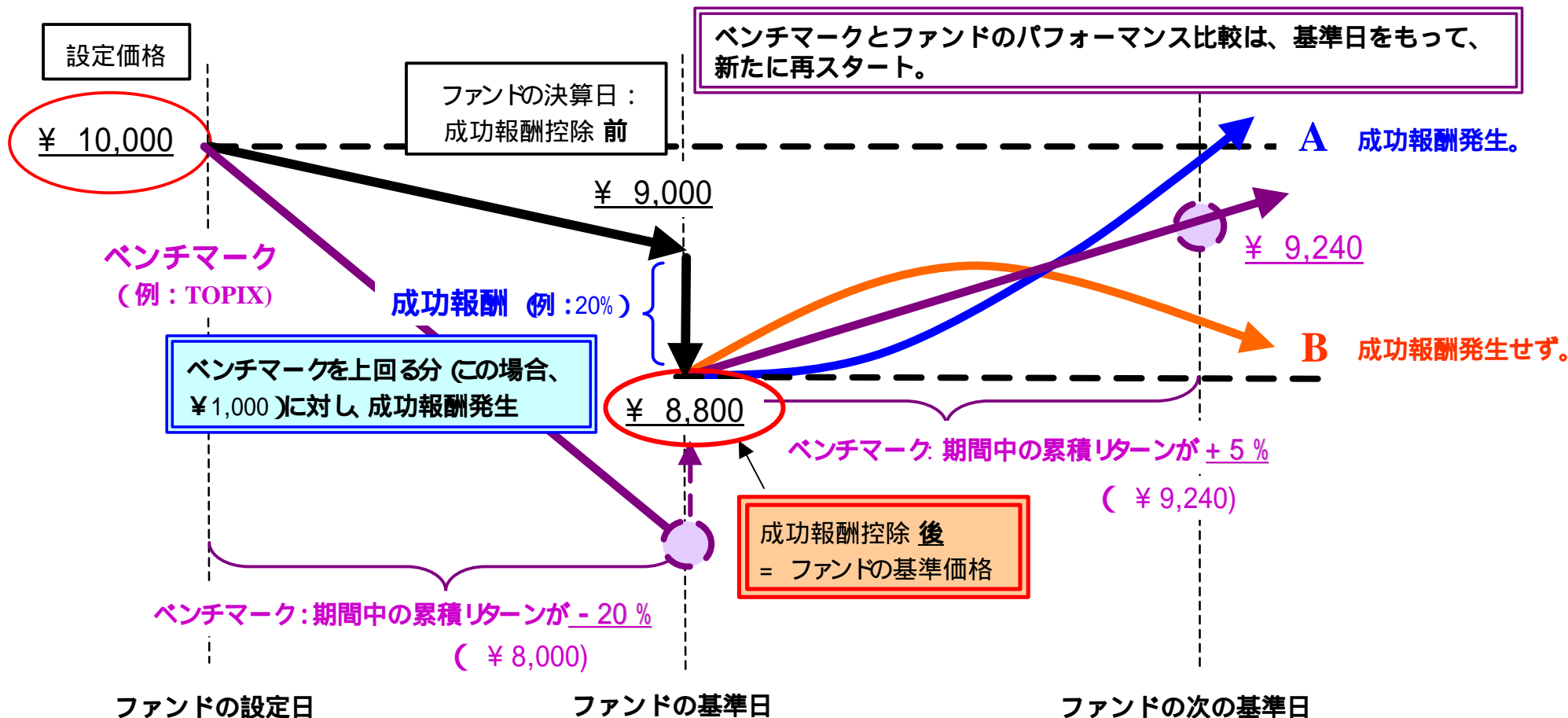
	2002年6月末	2003年6月末	2003年3月末
成功報酬なし (億円)	1,086	1,257	1,015
成功報酬付き (億円)	2,794	2,610	2,668
成功報酬付き比率 (%)	72.0%	67.5%	72.4%
合計 (億円)	3,881	3,868	3,683

(注1) 上記表上の数値は、単位未満を切捨てて表示しているが、表中の「成功報酬付き比率」の%は、小数点以下第2位を四捨五入し表示している。

対ベンチマーク型運用でご提案している成功報酬の仕組み



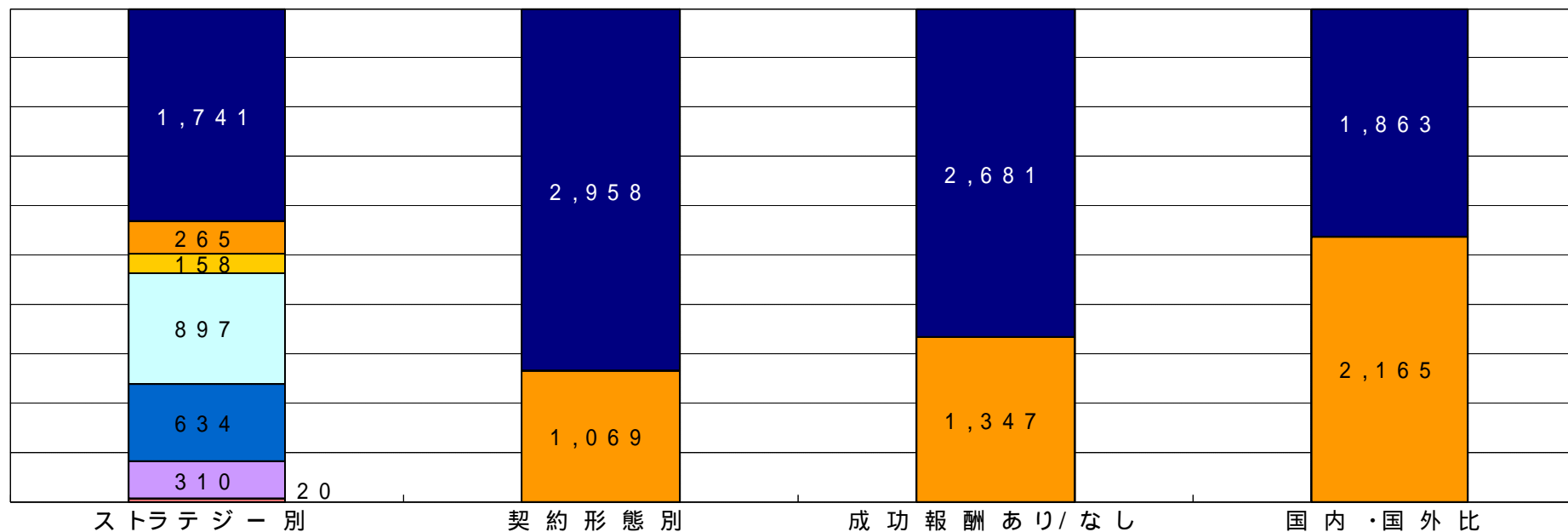
ファンドの決算期間（パフォーマンス計測期間）中に、ファンドの累積リターンが、同期間のベンチマークの累積リターンを上回ってさえいれば、たとえ、マイナスのリターンでも、成功報酬が発生する。



(注1) 上記の図は、成功報酬の仕組みを簡便的に説明したものである。実際の成功報酬の体系およびファンドの基準価格の計算方法を厳密に説明しているものではない。

(注2) 上記では、成功料率を便宜的に20%として計算している。

2003年7月末 (速報値) 運用資産残高の概要



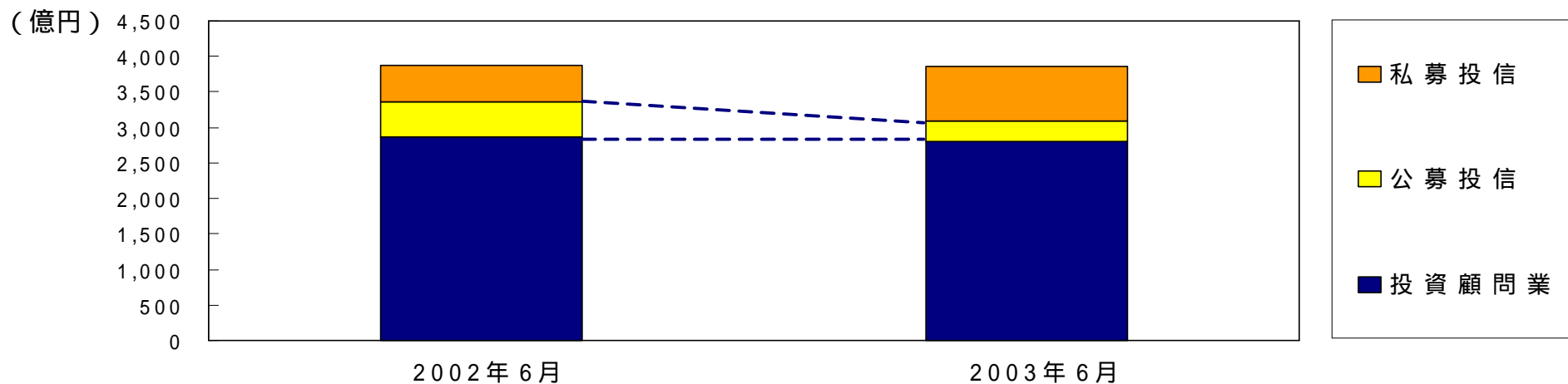
戦略別	金額	割合	契約形態別	金額	割合	成功報酬ありなし	金額	割合	国内・国外比 (顧客属性)
日本株式ロング・ショート投資戦略	1,741	43.2%	投資顧問	2,958	73.4%	成功報酬あり	2,681	66.5%	国内 1,863 46.2%
日本株式集中投資戦略	265	6.6%	投資信託委託	1,069	26.6%	成功報酬なし	1,347	33.5%	国外 2,165 53.8%
ファンド・オブ・ファンズ投資戦略	158	3.9%							
日本株式一般投資戦略	897	22.3%							
日本株式中小型投資戦略	634	15.8%							
バリュー・クエーション投資戦略	310	7.7%							
未公開株式投資戦略	20	0.5%							
合計 (単位: 億円)							4,028		

過去最高を記録。

(注) 運用資産残高の金額については、時価純資産額であり、表示単位未満は切捨てで表示している。ただし、上記表中の%については、小数点以下第2位を四捨五入し、表示している。

III. 当社ビジネスについて

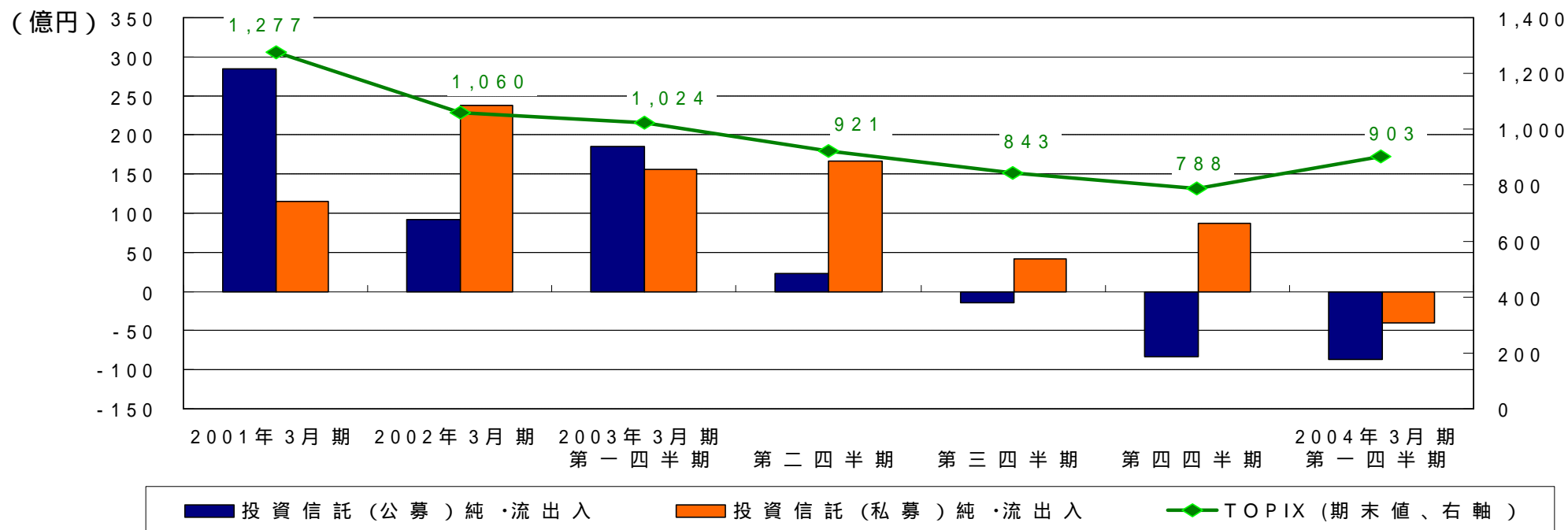
運用資産分析 【受託形態内訳の比較】



(単位：億円)	2002年6月末		2003年6月末		増加率 (%)	2003年3月末	
	運用資産残 高に占める 割合 (%)	運用資産残 高に占める 割合 (%)	運用資産残 高に占める 割合 (%)	運用資産残 高に占める 割合 (%)		運用資産残 高に占める 割合 (%)	
投資顧問業	2,870	74.0%	2,808	72.6%	- 2.2%	2,561	69.5%
助言契約	4	0.1%	4	0.1%	-	4	0.1%
一任契約	2,865	73.8%	2,804	72.5%	- 2.2%	2,556	69.4%
投資信託委託業	1,010	26.0%	1,059	27.4%	+ 4.8%	1,122	30.5%
公募投信	490	12.6%	290	7.5%	- 41.1%	351	9.5%
私募投信	519	13.4%	768	19.9%	+ 48.1%	771	20.9%
合計	3,881	100.0%	3,868	100.0%	- 0.3%	3,683	100.0%

(注) 上記表上の数値は、単位未満を切捨てて表示している。ただし、「運用資産に占める割合」および「増加率」の％は、小数点以下第2位を四捨五入して表示している。

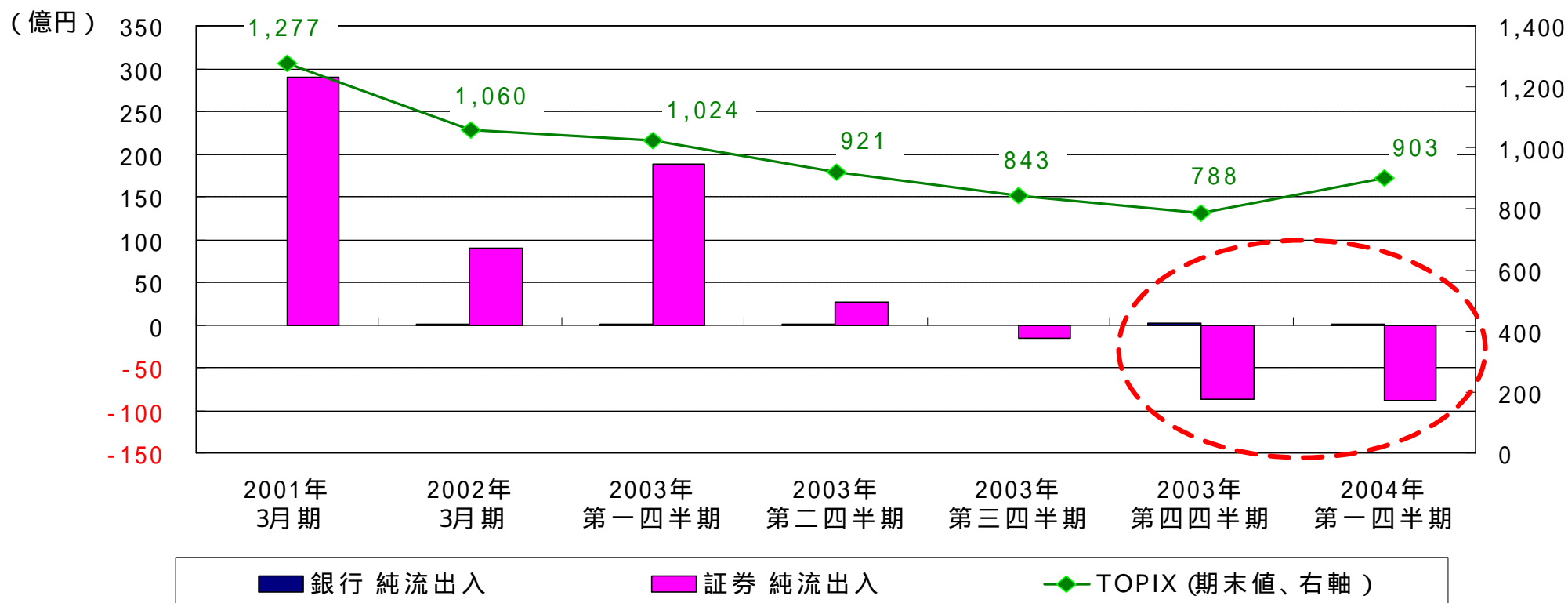
スパークス・グループの投資信託ビジネス（公募 vs 私募）



(単位：億円)		2001年3月期	2002年3月期	2003年3月期	2003年3月期	2003年3月期	2003年3月期	2004年3月期
				第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期	第一四半期
投資信託 (公募)	流入	459	184	196	45	31	5	4
	流出	-175	-92	-11	-22	-45	-89	-91
	純流出入	284	92	184	23	-14	-83	-86
投資信託 (私募)	流入	135	277	160	197	68	88	50
	流出	-20	-39	-3	-31	-25	0	-90
	純流出入	115	237	156	166	42	87	-40

(注) 上記表上の数値は、単位未満を切り捨てて表示している。また、上記グラフ中のTOPIXの期末値は、小数点以下第1位を切り捨て、表示している。

チャネル別・国内公募投信の資金流入



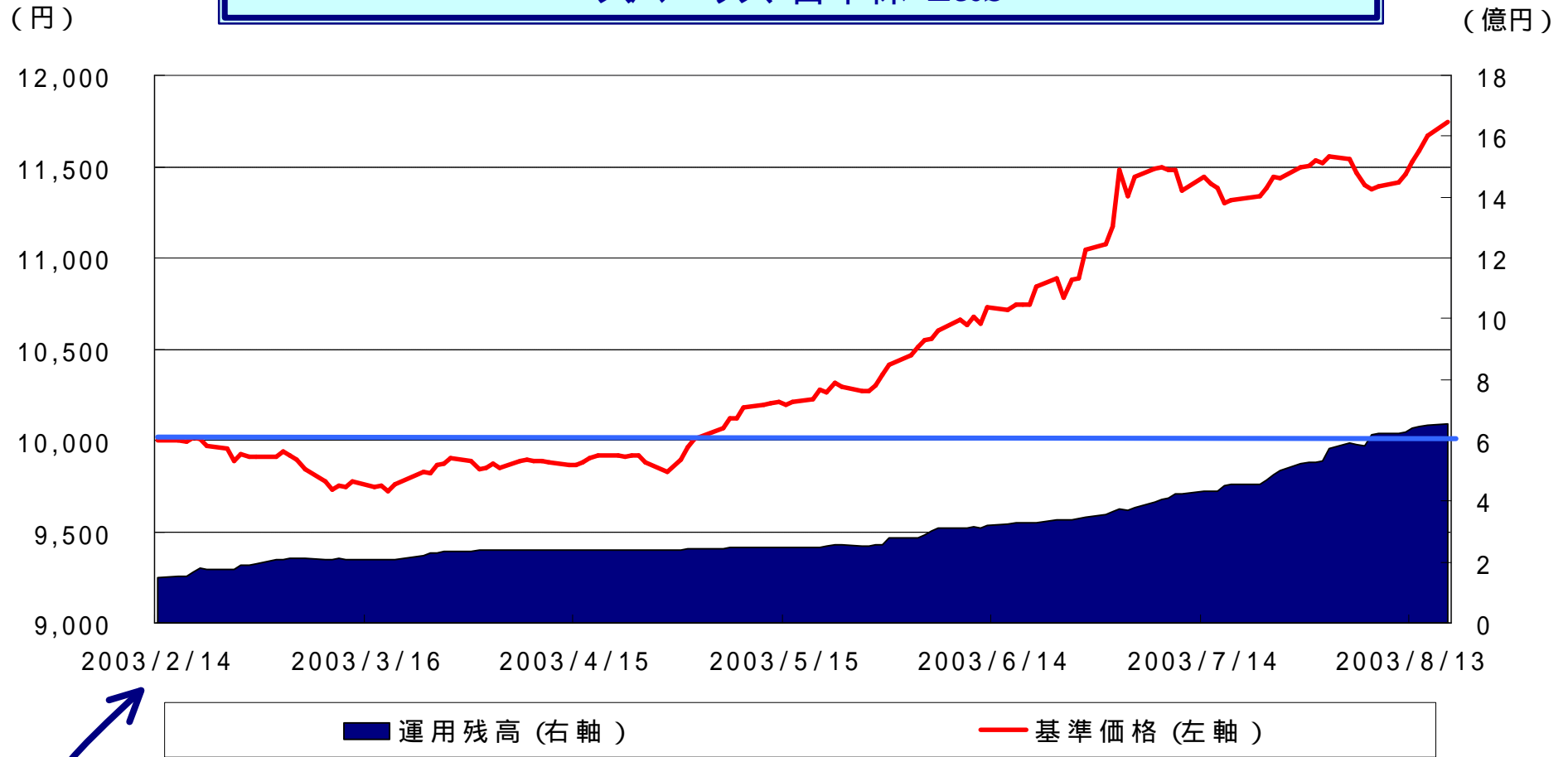
(単位：億円)		2001年3月期	2002年3月期	2003年3月期	2003年	2003年	2003年	2004年3月期
				第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期	第一四半期
純流出入	銀行	0	1	0	0	0	2	1
	証券	289	90	188	27	-16	-86	-88

(注) 上記表上の数値は、単位未満を四捨五入し表示している。また、上記グラフ中のTOPIXの期末値は、小数点以下第1位を切り捨て、表示している。

みずほ銀行で販売する公募投信の残高推移



スパークス・日本株・L&S



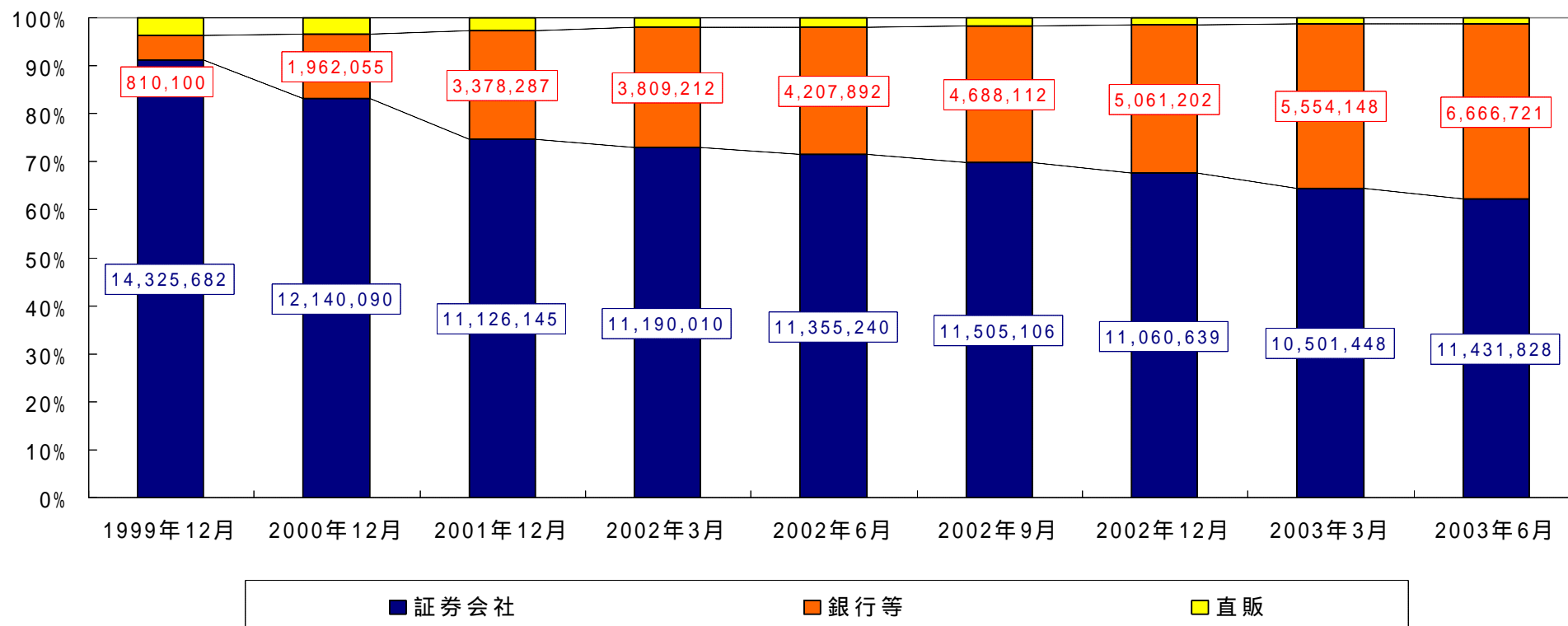
2003年2月14日：
みずほ銀行向けファンドとして、日本株式ロング・ショート型運用の国内公募投信を設定。

着実な残高の積み上げが続き、
6ヶ月で約5億円増加。

国内株式・公募投信の残高推移



(数字の単位 :百万円)



	1999年12月	2000年12月	2001年12月	2002年3月	2002年6月	2002年9月	2002年12月	2003年3月	2003年6月
国内株式・公募投信 (10億円)	15,696	15,696	14,905	15,309	15,861	16,461	16,372	16,266	18,328
TOPIX	1,722	1,283	1,032	1,060	1,024	921	843	788	903

(注) 上記の数値は、単位未満を切捨てて表示している。また、上記表中のTOPIXの数値は、各四半期末の数値であり、小数点以下第1位を切り捨てて表示している。

顧客の存在

(2003年8月20日現在)

運用戦略	日本	米国	欧州
日本株式ロング・ショート投資戦略			
日本株式集中投資戦略			
ファンド・オブ・ファンズ投資戦略		×	
日本株式一般投資戦略		×	
日本株式中小型投資戦略		×	
バリュー・クリエーション投資戦略			×
未公開株式投資戦略	×		

グループが設定するファンド

(2003年8月20日現在)

ファンドの組成地	日本	米国	欧州	オフショア
スパークス・グループが設定するファンド (投資信託・海外籍ファンド)		×	×	

この資料は、投資家への情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の有価証券の取引を推奨する目的、または特定の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。数値、情報については、正確性を期すべく、万全の配慮をしておりますが、一部内部資料に基づくものもあり、財務データに関しては未監査のもので、その正確性、完全性、情報や意見の妥当性等を保証するものでなく、当該データ、意見等を使用した結果についてもなから補償するものではありません。また、ここに記載された内容が事前連絡なしに変更されることもあります。この資料の著作権はスパークス・アセットマネジメント投信株式会社に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。